

## 行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	3	安全で安心して暮らせるまち				
取組方針	1	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう				
取組分野	1	防災・減災				
施策主管部局	総務部					
担当課	防災安全課	都市計画課				

## 1.目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
防災訓練への参加率	16.8%	17.7%	12.6%	30%	30%	30%	25%

## 2.主な取組の評価(DO・CHECK)

## (1) 災害時の対応連携強化

昨年度実施結果	課題
黒笠コミュニティとの合同防災訓練は台風により中止となった。 避難所開設訓練にあたり、防災リーダーや自主防災会の役割分担を意識して実施した。	市、防災リーダー、自主防災会の役割をしっかりと認識し、その上で発災時の協力、分担体制を構築していく必要がある。

## (2) 地域防災力の充実強化

昨年度実施結果	課題
家庭での災害時のトイレ対策を啓発した。 自主防災会参加で、避難所運営図上訓練を実施した。 防災リーダー養成講座を開催し、防災リーダーの人数及び質の向上を図った。	トイレ対策や備蓄など、自助の意識を高めていく必要がある。 自主防災会だけにとどまらず、近隣、互助に対する市民の意識が更に高まるよう啓発していく必要がある。

## (3) 災害発生時に備えた対策の推進

昨年度実施結果	課題
物資の供給が迅速に行えるよう、物流訓練を実施した。 円滑な避難所運営が進められるよう、自主防災会参加で避難所運営の図上訓練を実施した。	発災した状況を意識した、より実践的な訓練をしていく必要がある。 各避難所の事前レイアウトを更に見直していく必要がある。

## (4) 公共施設の非構造部材の耐震化と通行障害既存不適格建築物の耐震化促進

昨年度実施結果	課題
非構造部材の耐震化が必要な公共施設について、令和2(2020)年度までに全ての施設で工事が完了した。 通行障害既存不適格建築物の耐震診断に対する補助事業を実施しているが実績はなかった。	通行障害既存不適格建築物の所有者との耐震診断の実施に向けた協議がまとまっていない。

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

昨年度実施結果	課題

## 3.結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S: 複数中、A: 予定通り、B: 遅れ気味)	今後の方向性
B	今まで参加していない方にも防災に興味をもってもらい、意識が高まるよう、訓練や講座、講演会などのイベント内容を検討していく。

## 行政評価シート

評価年度	令和7(2025)年度		事業実施年度	令和6(2024)年度		
基本目標	3	安全で安心して暮らせるまち				
取組方針	1	地域で支え合い、災害に強いまちをつくろう				
取組分野	2	消防				
施策主管部局	総務部					
担当課	防災安全課					

## 1. 目標指標(PLAN)

指標名	R4 現状値	R5 実績	R6 実績	R7 目標	R8 目標	R9 目標	R10 最終目標
市内での火災出動件数	18件	21件	16件	18件	17件	16件	16件 以下

## 2. 主な取組の評価(DO・CHECK)

## (1) 消防団への加入促進

昨年度実施結果	課題
三好池まつり会場において、啓発ブースを設置した。 消防団への興味・理解を持つてもらうよう、子供用消防団服及び記念写真用パネルを導入し、イベントで活用した。	消防団の存在意義や地元での活動を若い方にアピールする必要がある。 活動を見直し、入団のハードルを下げていく必要がある。

## (2) 消防団装備の充実

昨年度実施結果	課題
三好下分団の消防車を更新した。 全分団に配備しているチェーンソーの取扱い訓練を実施した。	大規模災害時の消防団活動に必要な資機材の配備と使用訓練を検討していく必要がある。

## (3) 消防団員の待遇改善

昨年度実施結果	課題
消防団の活動に対し、適正な報酬を支払った。 消防団活動に協力している事業所等を表彰する制度の導入を検討した。	消防団員の報酬は国が示している標準的な額となっているため、消防団員の活動に報いるその他の方策を模索していく必要がある。

## (4) 火災予防運動の実施

昨年度実施結果	課題
11月と3月に火災予防運動を実施し、行政区への協力依頼及び消防団による巡回を実施した。	行政区に放送による呼びかけを依頼しているが、機器の整備状況等により、できない場合もある。 区民の理解が得られず、苦情等により、消防団が巡回できない行政区がある。

## (5) 消防団活動の周知啓発

昨年度実施結果	課題
Xを使用して消防団活動の発信を行った。 また、三好池まつりや安心安全大作戦などのイベント時に加入促進と合わせた、活動の周知啓発を行った。	イベントの参加者は市外の方も多く、市民に認知される目的からみると効率的とはいえない状況である。 市民に直接伝わるような方策を模索する必要がある。

## (6) 防災教育の実施

昨年度実施結果	課題
機能別分団による小学校での防災教室を開催した。	分団員の教室の説明内容や進め方にまだ改善の余地があるが、任期が最大で在学中の4年間ということもあり、早期のスキルアップを図る必要がある。

昨年度実施結果	課題

## 3. 結果と今後の方向性(ACTION)

進捗状況 (S: 複進中、A: 予定通り、B: 遅れ気味)	今後の方向性
A	消防団の活動内容の見直しによる、新規入団への抵抗感の減少や、地域、家族の認知度向上による活動への理解など、入団ハードルが下がるよう検討していく。